

平成 16 年 9 月 3 日
国土交通省中部地方整備局
独立行政法人水資源機構中部支社

お 知 ら せ

1. 件 名

台風 16 号による出水における岩屋ダムの洪水調節効果について

2. 概 要

平成16年8月29日から31日にかけて、台風16号の接近により岐阜県は大雨に見舞われました。

木曽川水系馬瀬川の岩屋ダム流域では、8月29日夕方から31日早朝までに、累計約107mm（岩屋ダム流域平均雨量）の降雨を観測しました。特に31日1時の時間最大雨量は、約22mm、31日0時から3時までの3時間雨量は約45mmを記録しました。

この降雨により、岩屋ダムでは、31日4時10分に洪水流量（300m³/s）に達し、その後、流入量は、31日4時40分には最大約510m³/sとなりました。

岩屋ダムの貯水容量内への洪水貯留により、下流基準地点（東沓部地点^{ひがしくつべ}）において、約1.74mの水位低減があったものと推定され、下流河川の洪水を軽減しました。

なお、今回の出水により岩屋ダムの利水容量（61,900千m³）は満水となりました。

3. 雨 量

流域平均雨量	約 107 mm
	（降り初めから累計値：29日18時から31日12時まで）
ダム地点雨量	約 104 mm
	（降り初めから累計値：29日19時から31日9時まで）

4. 岩屋ダム洪水調節量

ダム最大流入量	31日4時40分	約 510 m ³ /s
ダム最大放流量		約 0 m ³ /s
洪水調節量		約 510 m ³ /s
（参考：馬瀬川への馬瀬川第2ダム最大放流量		約 1 m ³ /s）

5 . 下流基準地点での効果推定値

ダムが貯水容量内に洪水を貯留することによって、東沓部地点での実績最高水位は、3.66mでした。

ダムが貯留を行わなかった場合の東沓部地点での河川水位は約5.40mと推定されます。(この値は、東沓部地点の実績流量に、岩屋ダム地点の洪水調節量を加算して、算定した河川水位の推定値です。)

その結果、東沓部地点で約1.74mの水位低減効果があったものと推定されました。

東沓部地点 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
住所：岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458

6 . 配布先

岐阜県政記者クラブ

7 . 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理(技) 田原 秀光
電話 0576-35-2339

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
流水調整課長 大塚 康司
電話 058-251-3234

岩屋ダムの洪水調節効果(東沓部地点)

左岸

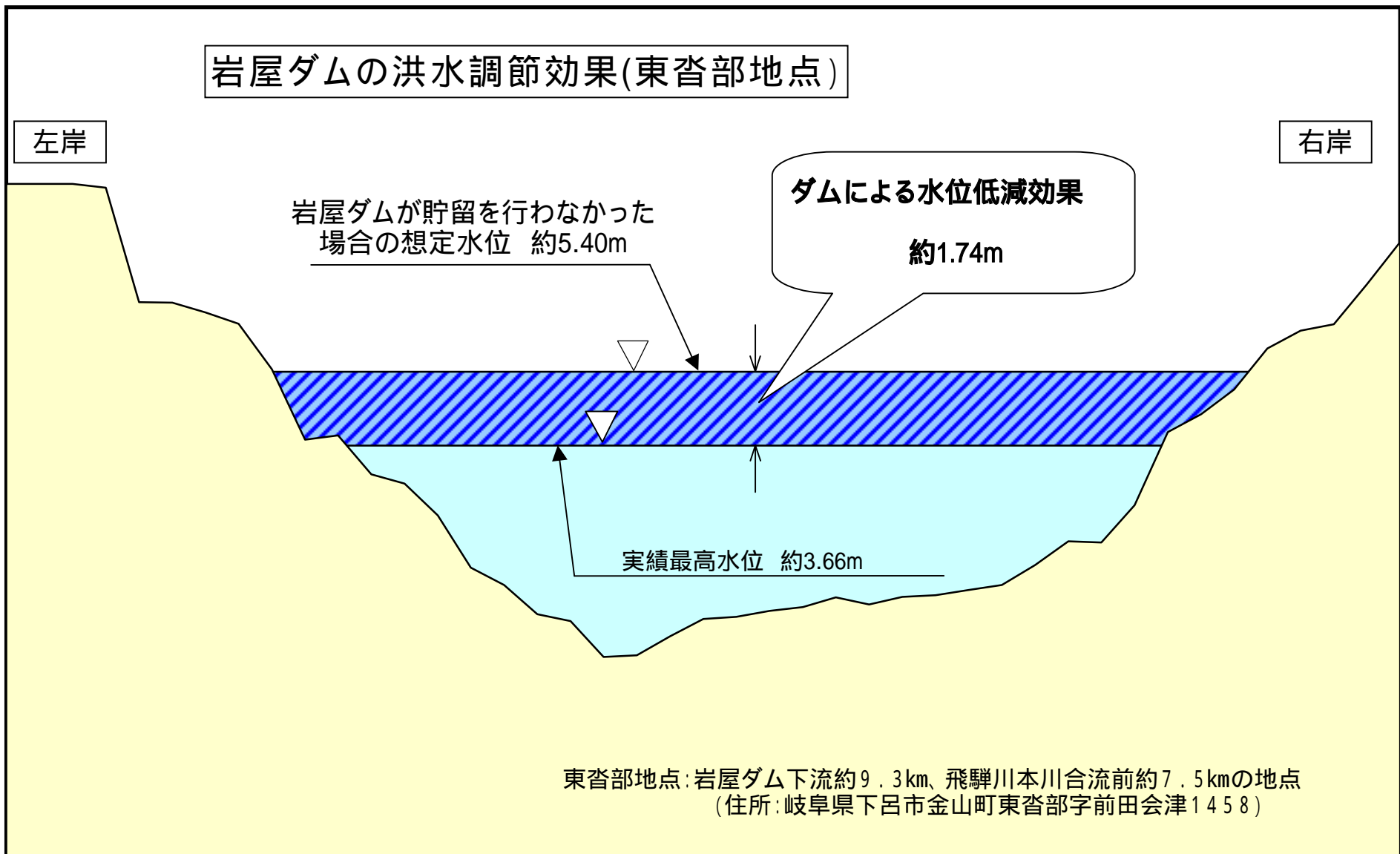
右岸

岩屋ダムが貯留を行わなかった
場合の想定水位 約5.40m

ダムによる水位低減効果
約1.74m

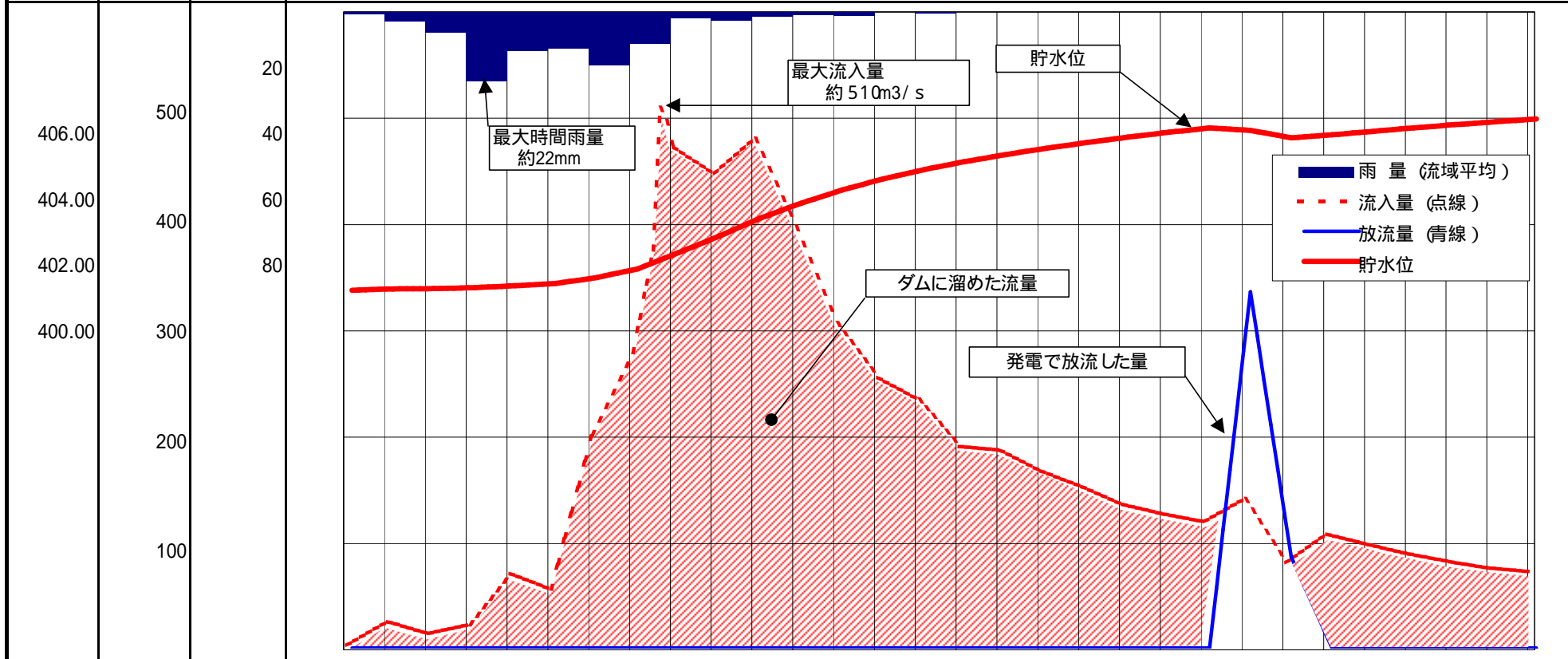
実績最高水位 約3.66m

東沓部地点: 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
(住所: 岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458)



貯水位 (EL.m) 流量 (m³/s) 雨量 (mm)

岩屋ダム操作実績



月 日 時	8 月 31 日																														
流域平均時間雨量	2	1	3	6	22	12	11	17	10	2	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯 水 位	401.22	401.26	401.27	401.30	401.36	401.43	401.62	401.89	402.40	402.92	403.48	403.95	404.36	404.71	405.00	405.25	405.47	405.67	405.85	406.02	406.17	406.31	406.23	406.00	406.09	406.20	406.31	406.41	406.50	406.59	
流 入 量	4	27	15	24	72	57	202	279	415	448	481	398	307	256	236	191	188	168	154	137	128	121	142	82	109	99	90	83	77	74	
全 放 流 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	335	86	0	0	0	0	0	0	